



富士山学習研究会(町教育センター研究員)

大きな成果につながった関係機関との連携

平成25年度に立ち上がった富士山学習研究会。毎年5回にわたって研究会を開催してきました。今年度も回を重ねるごとに研究が深まり、大きな成果を上げることができました。

富士河口湖町の小中学校、鳴沢小学校では、「富士山を中心とした歴史・文化・自然・芸術・観光・防災等を体系的に学ぶことにより、郷土に誇りをもつとともに、富士山を愛し、共に生きる子どもの育成」を目標として、富士山学習を展開しています。この富士山学習研究会を充実させることが子どもたちの富士山学習を深めることにつながっています。今年度もコロナ禍ではありましたが、山梨県富士山科学研究所や町地域防災課との連携により、実践的な避難訓練や授業実践を行うことができました。次に示した通り、富士山学習を今後も進めていくためには、専門機関との連携は不可欠です。

富士山学習研究会 取り組みの振り返り



- 富士山科学研究所との連携は、とても大切なことだと思います。教員とは違う視点で見ていただけるだけでなく、的確なアドバイスを頂けるので、今後も連携していきたい。また、町役場の渡辺さんとも「防災教育」を進めていくうえで、今後も連携して研究を進めていく必要があると思います。

ことができました。私事ですが専攻は地学なので、とても興味深い学習でした。交流で来ているので、今まで以上に近くに富士山を感じ、富士山のことをたくさん学べてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

- 防災学習に重点をおいて富士山学習が進められていますが、必ず知っておかなければいけない(知っておいた方がいい)ことについて学べ、よい学習になっていると思います。特に、富士山科学研究所や町役場との連携がとても密になっており、私たち自身がたくさん学習をさせていただいています。この連携をいかして、学校でも機会や時間があれば(つくって)、専門家の先生方から話をさせていただけたらと思います。





- 富士山学習を今後も進めていくためには、専門機関との連携は不可欠。富士山科学研究所と TT の形で連携を取っていくとよい。
- 富士山の地元の学校で富士山学習を進めていくことはとても大切だと思います。まだ数年の取り組みではありますが、大きな成果が出ていると思います。専門機関の先生方との連携により、今回の勝山小の取り組みによる成果と課題で、さらに新しい教材開発も進み、よりよい学習につながっていくと思います。

- 富士山科学研究所の先生方にご協力をいただき、最新の情報をうかがったり、教材や学習プログラムの提案をいただいたりと、本当にありがたいです。よい機会をいただいているので、ぜひ実践に役立てていきたいです。
- 研究会に参加して、専門機関の方からたくさん話を聞くことができ、とても勉強になりました。富士山麓地域に住んでいたり、勤務したりしている教職員にとって、富士山について知る良い機会になりました。今後も積極的に専門機会と連携をしていける体制をとっていかれたらと思います。
- 専門的な知識がない中、富士山科学研究所などとの連携は子どもに防災教育をする上で非常に大切だと改めて感じた。私自身も知らないことが多く、教員の学びにもなるので今後も積極的に活用したり連携をとったりしていきたい。
- 毎回、富士山研の方が来てくださってとても学びの多い研究会でした。学校代表だけで聞くのはもったいない。さりとて、学校現場も忙しいという中で、ここぞという場面では、もっと多くの先生方にみてもらえるよう、OL か動画で見られるようになればいいなと思いました。(現場の先生に、面白さが伝えきれなくて)
- 防災学習や専門機関との連携など、その記録を教育課程にしっかり明記し、次年度につなげていくことが大切だと思います。湖畔のどの学校でも同じような各機関との連携がとれるとよいと思います。



富士山学習発表会(展示発表)の予定

次の日程で、今年度も子どもたちが取り組んできた富士山学習の成果発表会を行う予定です。日頃の成果を発表し合うことを通して、更に学習を深めることができると考えております。

発表会は、コロナ禍のため、各校の取り組み内容を展示するという形で行います。

日時 3月7日(月)～3月24日(木) ただし、土・日曜日を除く
8時30分～17時15分

場所 富士河口湖町役場 ギャラリー 主催 富士河口湖町立教育センター 富士山学習研究会

